Techno Report

∞∞ テクノ レポート ∞∞ **№ 129**

多段ポンプの劣化復旧事例紹介

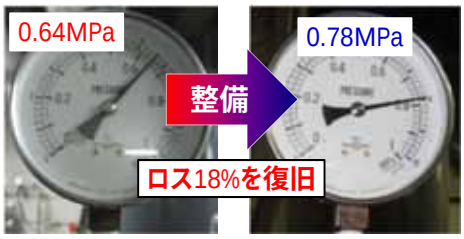
能力の低下したポンプをオーバーホールしてリフレッシュすることで使用電力を低減できます。

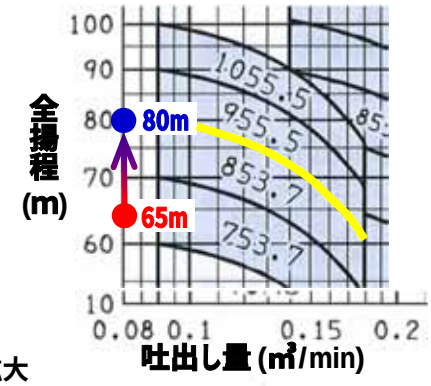
今回は、高揚程が必要な高層階施設の揚水ポンプ等に多く使用されている、多段式陸上送水ポンプの整備事例を紹介します。事例のポンプは、整備前の締切圧力は、初期の0.78MPa(揚程80m)に対して0.64MPa(65m)と82%にまで低下していました。

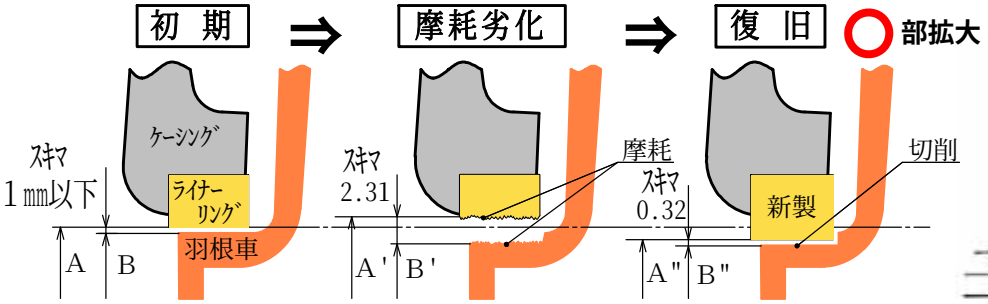
多段ポンプを長年使い続けますと、ポンプ内部で各段の羽根車間をシールしている『ライナーリングと羽根車』間のスキマが摩耗により大きくなり、高圧側から低圧側への漏れが増加して圧力が低下します。今回は摩耗した羽根車側シール面を切削して表面を整え、直径が小さくなった分内径を小さくしたライナーリングを新しく制作しました。8段全てのスキマを基準である1mmの3分の1以下（最大0.32mm）にした結果、締切圧力を初期の0.78MPa(揚程80m)に復旧することができました。

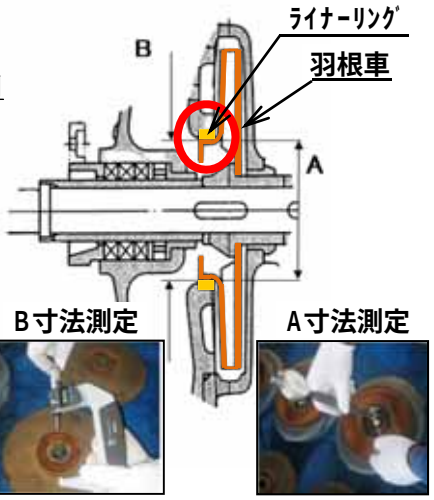
弊社では、**設備機器の巡回点検**（無料）を行っていますので、気軽に**担当者に声をかけて**下さい。

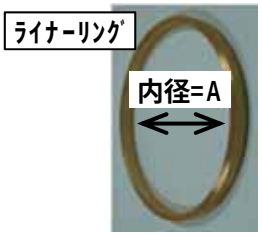
整備前後の締切圧力











発行　藤田テクノ株式会社　テクノレポート発行委員会　　2012年10月10日発行
〒370-0069 群馬県高崎市飯塚町1174-5　TEL 027-361-8111　FAX 027-361-3686　　編集：都木
太田支店　TEL 0276-46-1348　埼玉支店　TEL 049-279-3011　　問合せ先：埼玉支店／長井、管理部／都木
URL：http://www.fujita-tec.co.jp　MAIL: m-takagi@mail.fujita-tec.co.jp　（メール配信ご希望の方はこちらまで）
本紙は、弊社よりの納品書等の郵送時に同封させて頂きますので重複等が発生する事がございます。予めご了承下さい。